

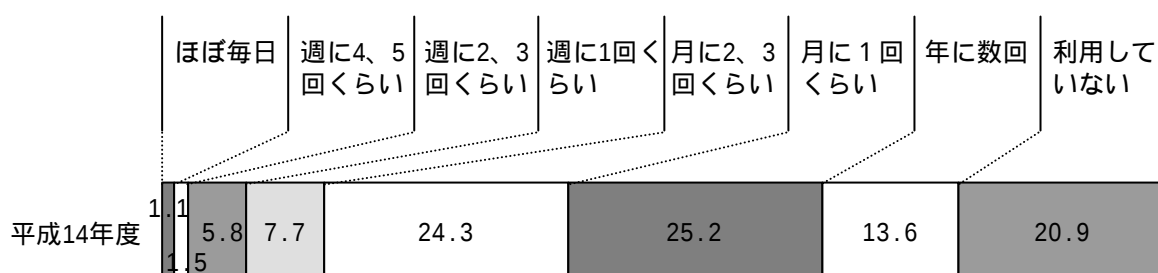
5 医療に関する事項

(1) 医療サービスの利用状況 (Q22)

「病院や診療所など医療施設へ通院したり、往診に来てもらうなど、医療サービスを日頃どのくらい利用しているか」についてみると、「月に1回くらい」が25.2%、「月に2、3回くらい」が24.3%と両方合わせてほぼ5割を占める割合となっている。以下、「年に数回」が13.6%、「週に1回くらい」7.7%、「週に2、3回くらい」5.8%、「週に4、5回くらい」1.5%、「ほぼ毎日」1.1%の順となっている。また、「利用していない」が20.9%と5人に1人の割合となっている。

図5 - 1 医療サービスの利用状況 (Q22)

(単位: %)



性別にみると、「利用していない」(男性24.0%、女性18.6%)は男性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、後期高齢者で「月に2～3回くらい」の割合が30.3%と最も高く、前期高齢者では「利用していない」が25.6%と最も高くなっている。

表5 - 1 医療サービスの利用状況 (Q22)

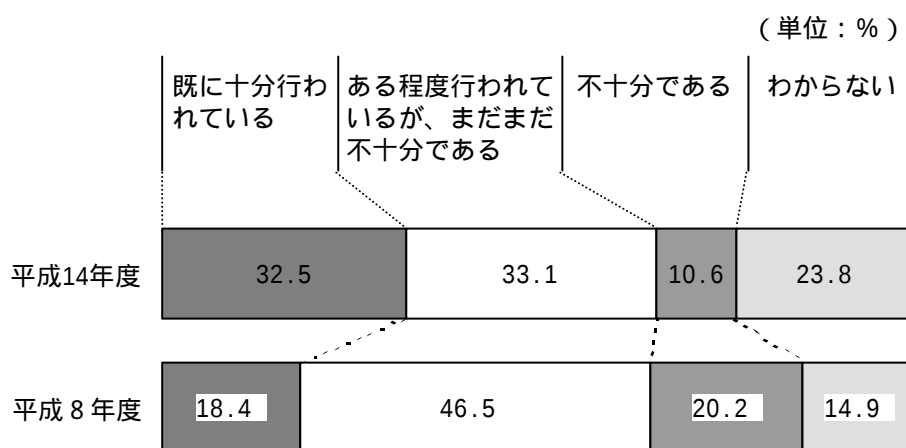
	総 数	ほぼ毎日	週に4、5回くらい	週に2、3回くらい	週に1回くらい	月に2、3回くらい	月に1回くらい	年に数回	利用していない
【総 数】(実数)	2,307	25	35	133	178	560	581	314	482
(構成比)		1.1 %	1.5 %	5.8 %	7.7 %	24.3 %	25.2 %	13.6 %	20.9 %
【性別】									
男性	965	0.5	0.9	5.2	6.5	24.5	23.6	14.8	24.0
女性	1,342	1.5	2.0	6.2	8.6	24.1	26.3	12.8	18.6
【年齢】									
65～69歳	728	0.2	0.8	3.6	6.1	18.2	22.9	19.3	29.0
70～74歳	627	0.8	1.3	6.1	6.7	22.1	28.4	12.7	21.8
75～79歳	522	2.0	2.4	7.7	9.0	31.4	23.9	9.2	14.4
80歳以上	430	1.9	1.9	6.6	10.2	28.9	26.0	10.7	13.8
65～74歳(計)	1,356	0.4	1.1	4.8	6.4	20.0	25.4	16.2	25.6
75歳以上(計)	952	2.0	2.2	7.2	9.6	30.3	24.8	9.9	14.1
【現在の健康状態】									
良い(計)	1,094	0.5	0.8	2.4	4.0	20.0	25.1	17.1	30.1
普 通	596	0.8	1.2	5.1	7.2	26.6	27.1	14.7	17.3
良くない(計)	613	2.2	3.2	12.5	14.5	29.9	23.3	6.3	8.2
【要介護度の状況】									
認定なし(計)	2,102	1.0	1.4	5.0	7.0	24.5	25.5	14.2	21.4
認定あり(計)	206	1.7	2.7	13.6	14.7	22.1	22.0	7.4	15.8

(2) インフォームド・コンセントに対する意識 (Q23)

「我が国の医療機関では、医師が治療の方法、効果、危険性などについて患者に十分な説明を行い、同意を得た上で治療が行われていると思うか」についてみると、「既に十分行われている」が 32.5%、「ある程度行われているが、まだまだ不十分である」が 33.1%、「不十分である」が 10.6%となっている。また、「わからない」が 23.8%となっている。

前回調査と比較すると、「既に十分行われている」が 14.1 ポイント増加し、「不十分である」が 9.6 ポイント減少している。

図 5 - 2 インフォームド・コンセントに対する意識 (Q23)



性別にみると、「既に十分行われている」(男性 34.6%、女性 30.9%)は男性の、「わからない」(男性 20.8%、女性 26.0%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、前期高齢者で「ある程度行われているが、まだまだ不十分である」(35.1%)、「不十分である」(12.6%)の割合が、後期高齢者で「わからない」(29.1%)の割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「既に十分行われている」は大都市(27.9%)で割合が低く、「不十分である」は大都市(12.9%)、中都市(11.9%)で割合が高くなっている。

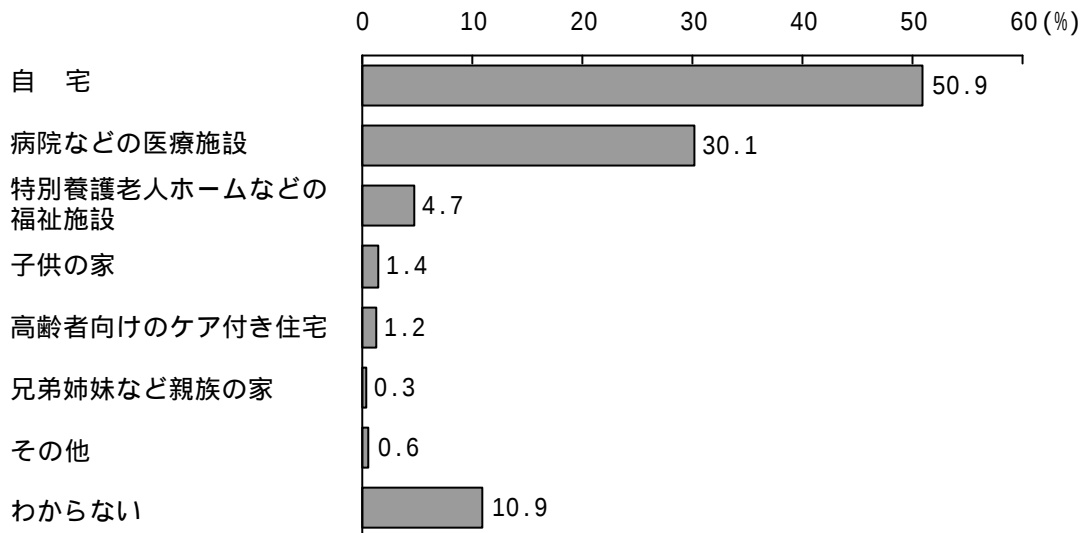
表 5 - 2 インフォームド・コンセントに対する意識 (Q23)

	総 数	既に十分行 われている	ある程度行 われている が、まだま だ不十分で ある	不十分であ る	わからない
【総 数】(実数)	2,307	750	764	244	550
(構成比)		32.5 %	33.1 %	10.6 %	23.8 %
【性別】					
男性	965	34.6	34.2	10.4	20.8
女性	1,342	30.9	32.3	10.7	26.0
【年齢】					
65～69歳	728	30.1	35.6	14.1	20.3
70～74歳	627	34.5	34.6	10.9	20.0
75～79歳	522	33.1	34.4	8.7	23.8
80歳以上	430	32.9	25.2	6.3	35.6
65～74歳(計)	1,356	32.1	35.1	12.6	20.1
75歳以上(計)	952	33.0	30.2	7.6	29.1
【都市規模】					
大都市	412	27.9	36.4	12.9	22.7
中都市	799	32.6	36.3	11.9	19.2
小都市	450	30.1	33.1	7.9	28.9
町 村	646	36.9	27.0	9.3	26.7

(3) 最期を迎える場所 (Q24)

「万一、治る見込みがない病気になった場合、最期は何处で迎えたいか」についてみると、「自宅」の割合が 50.9% で 5 割を占め最も高く、次いで、「病院などの医療施設」が 30.1% となっている。以下、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」4.7%、「子供の家」1.4%、「高齢者向けのケア付き住宅」1.2%。「兄弟姉妹など親族の家」0.3%となっている。また、「わからない」は 10.9% となっている。

図 5 - 3 最期を迎える場所 (Q24)



性別にみると、「自宅」(男性 58.9%、女性 45.2%)は男性の、「病院などの医療施設」(男性 26.0%、女性 33.0%)は女性の割合が高くなっている。

配偶者の有無別にみると、「自宅」は配偶者のいる人 (56.0%) がいない人 (41.6%) よりも、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」は配偶者のいない人 (8.6%) がいる人 (2.5%) よりも割合が高くなっている。

子供の有無別にみると、「自宅」は、子供がいる人 (51.9%) がいない人 (34.3%) よりも、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」は子供がいない人 (12.5%) がいる人 (4.2%) よりも割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「自宅」は町村 (54.3%) で、「病院などの医療施設」は大都市 (33.5%) で割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、「自宅」は三世帯世帯 (61.5%) で高く、単身世帯 (28.5%) で低い割合となっている。単身世帯では「病院などの医療施設」(34.6%)、「特別養護老人ホームなどの福祉施設」(12.8%) の割合が他の世帯構成に比べ高くなっている。

表5 - 3 最期を迎える場所（Q24）

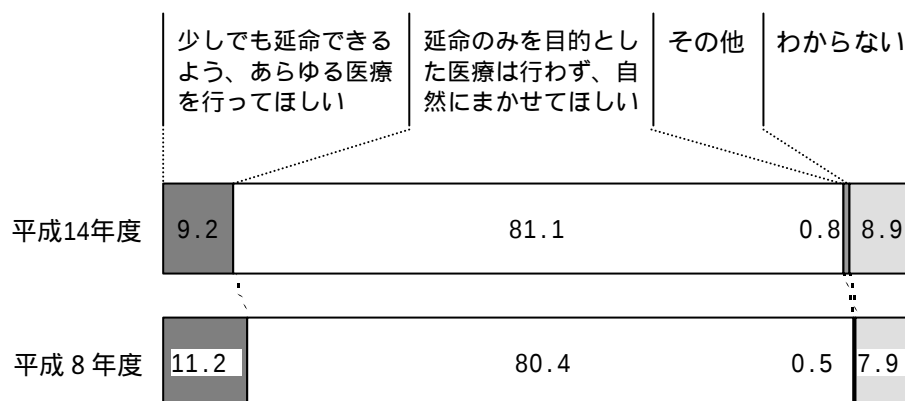
	総 数	自 宅	病院などの 医療施設	特別養護老 人ホームな どの福祉施 設	子供の家	高齢者向け のケア付き 住宅	兄弟姉妹な ど親族の家	その他	わからない
【総 数】(実数)	2,307	1,175	694	108	32	27	6	14	251
(構成比)		50.9 %	30.1 %	4.7 %	1.4 %	1.2 %	0.3 %	0.6 %	10.9 %
【性別】									
男性	965	58.9	26.0	3.7	0.7	0.8	0.2	0.4	9.3
女性	1,342	45.2	33.0	5.4	1.9	1.4	0.3	0.8	12.0
【年齢】									
65～69歳	728	52.1	28.4	4.4	0.3	1.6	0.5	1.5	11.1
70～74歳	627	51.8	28.7	5.2	1.7	1.5	0.2	0.2	10.7
75～79歳	522	47.5	34.6	4.3	2.4	0.4	0.3	0.1	10.4
80歳以上	430	51.8	29.3	4.8	1.6	0.8	-	0.4	11.4
65～74歳（計）	1,356	52.0	28.6	4.8	1.0	1.6	0.4	0.9	10.9
75歳以上（計）	952	49.4	32.2	4.5	2.0	0.6	0.2	0.2	10.8
【配偶者の有無】									
いる	1,498	56.0	29.1	2.5	0.8	1.1	0.1	0.6	9.9
いない	809	41.6	31.9	8.6	2.5	1.4	0.5	0.7	12.7
【子供の有無】									
いる	2,177	51.9	30.1	4.2	1.5	1.2	0.1	0.6	10.4
いない	130	34.3	30.1	12.5	-	1.5	2.5	0.6	18.6
【都市規模】									
大都市	412	46.8	33.5	3.9	0.9	0.8	0.2	0.2	13.7
中都市	799	50.9	29.1	6.0	1.5	1.5	0.2	0.5	10.3
小都市	450	49.8	28.9	4.8	1.6	1.2	0.9	1.3	11.4
町 村	646	54.3	29.9	3.5	1.4	1.0	-	0.5	9.4
【世帯構成】									
単身世帯	308	28.5	34.6	12.8	4.8	1.2	1.0	0.8	16.3
夫婦のみ世帯	803	53.1	31.6	2.5	1.2	1.0	0.1	0.8	9.7
二世帯世帯	464	49.0	30.7	5.7	0.6	2.2	0.4	0.5	10.9
三世帯世帯	600	61.5	25.6	3.1	0.7	0.5	-	0.5	8.1
その他の世帯	132	48.7	28.7	2.2	0.9	1.5	-	-	18.0

(4) 自分についての延命治療 (Q25)

「万一、病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命のための医療を受けること」についてみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は9.2%にとどまり、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が81.1%と8割強を占めている。

図5 - 4 自分についての延命治療 (Q25)

(単位：%)



性別にみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」(男性 79.8%、女性 82.1%)は男女とも8割前後の割合を占めている。「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」(男性 11.6%、女性 7.4%)は、男性の割合が高くなっている。

配偶者の有無別にみると「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は、配偶者のいる人の割合が10.6%といない人(6.5%)より高くなっている。

世帯構成別にみると「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は二世帯世帯(11.0%)で高く、単身世帯(5.2%)で低い割合となっている。

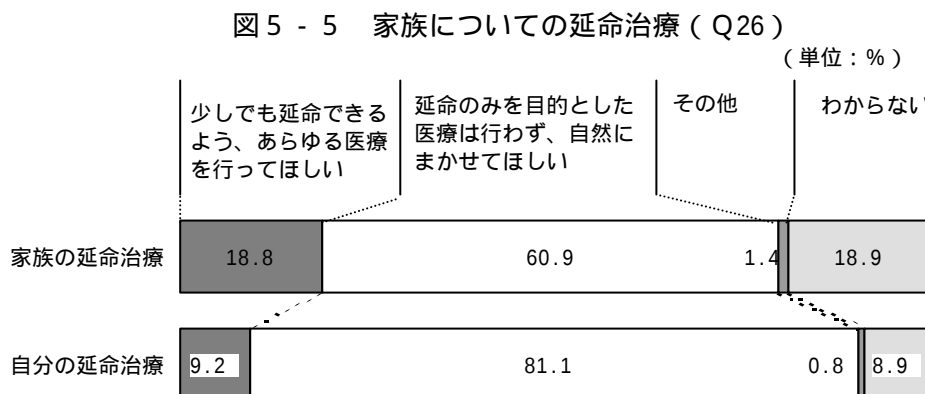
表 5 - 4 自分についての延命治療 (Q25)

	総 数	少しでも延命できるよ う、あらゆる医 療を行ってほ しい	延命のみを 目的とした 医療は行わ ず、自然にま かせてほし い	その他	わからない
【総 数】(実数)	2,307	212	1,872	18	206
(構成比)		9.2%	81.1%	0.8%	8.9%
【性別】					
男性	965	11.6	79.8	0.8	7.8
女性	1,342	7.4	82.1	0.8	9.7
【年齢】					
65～69 歳	728	8.8	83.4	1.2	6.6
70～74 歳	627	11.2	78.2	0.4	10.2
75～79 歳	522	9.0	81.2	0.9	8.9
80 歳以上	430	7.1	81.2	0.6	11.1
65～74 歳 (計)	1,356	9.9	81.0	0.8	8.2
75 歳以上 (計)	952	8.1	81.2	0.8	9.9
【配偶者の有無】					
いる	1,498	10.6	80.7	0.6	8.1
いない	809	6.5	81.9	1.1	10.4
【都市規模】					
大都市	412	5.0	82.6	0.4	12.0
中都市	799	9.3	82.5	0.8	7.4
小都市	450	11.8	79.3	1.2	7.7
町 村	646	9.9	79.6	0.7	9.7
【世帯構成】					
単身世帯	308	5.2	83.9	1.2	9.8
夫婦のみ世帯	803	9.7	82.2	0.5	7.5
二世帯世帯	464	11.0	78.1	1.2	9.7
三世帯世帯	600	9.2	81.0	0.7	9.0
その他の世帯	132	8.9	78.9	-	12.2

(5) 家族についての延命治療 (Q26)

「万一、家族の病気が治る見込みがなく、死期が近くなった場合、延命のための医療を受けること」についてみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は 18.8%にとどまり、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」が 60.9%と 6 割強を占める。

Q25 の自分の延命治療の結果と比較すると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は、家族の延命治療が自分よりも約 2 倍高い割合となっている。



性別にみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」(男性 21.4%、女性 16.9%)、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」(男性 63.1%、女性 59.3%)は男性の、「わからない」(男性 13.7%、女性 22.6%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は前期高齢者(64.0%)が後期高齢者(56.4%)よりも割合が高く、「わからない」は後期高齢者(24.8%)が前期高齢者(14.7%)より高くなっている。

都市規模別にみると、「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は小都市(25.5%)で割合が高く、大都市(11.0%)で低くなっている。逆に、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は大都市(66.7%)で割合が高く、小都市(54.8%)で低くなっている。

世帯構成別にみると「少しでも延命できるよう、あらゆる医療を行ってほしい」は単身世帯(10.9%)で割合が低く、「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は夫婦のみ世帯(69.9%)で割合が高くなっている。

配偶者の有無別にみると「延命のみを目的とした医療は行わず、自然にまかせてほしい」は、配偶者のいる人が 66.9%と、いない人(49.9%)より 17.0 ポイント高くなっている。

表5 - 5 家族についての延命治療（Q26）

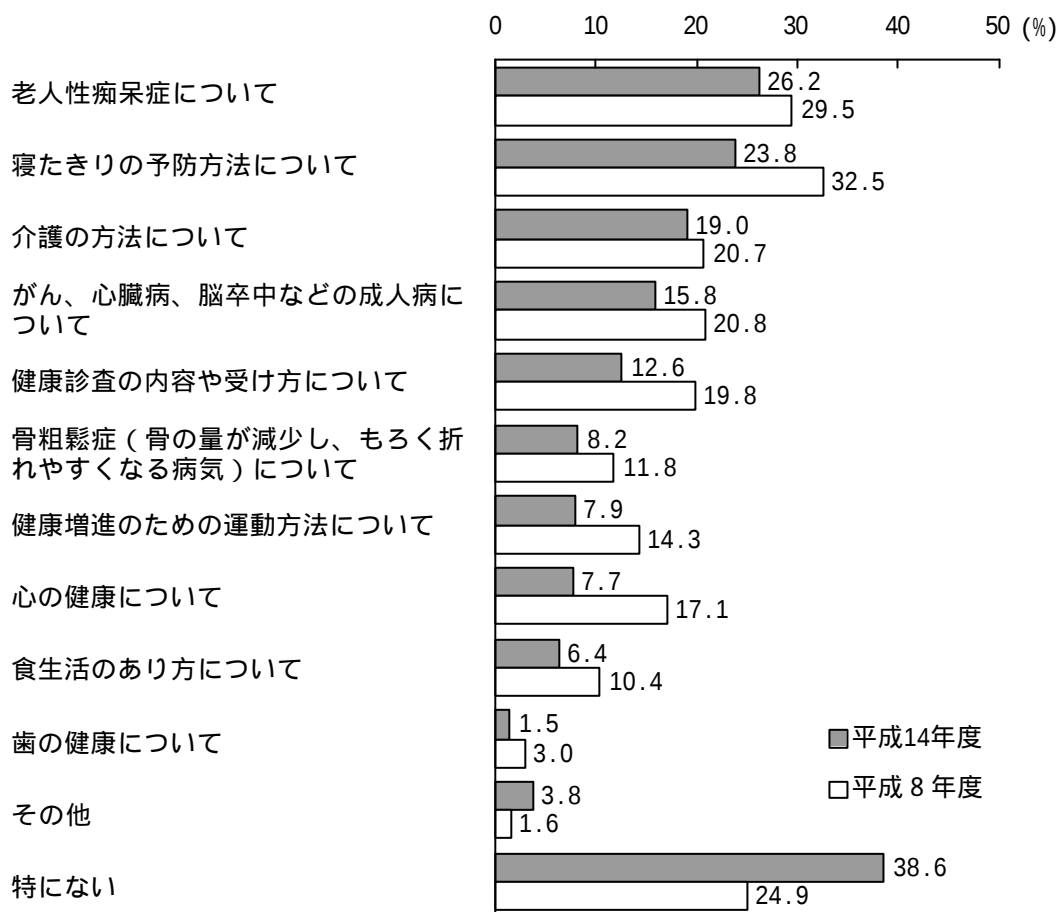
	総 数	少しでも延命できるよ う、あらゆる 医 療を行っ てほしい	延命のみを 目的とした 医 療は行わ ず、自然にま かせてほし い	その他	わからない
【総 数】(実数)	2,307	433	1,405	33	436
(構成比)		18.8%	60.9%	1.4%	18.9%
【性別】					
男性	965	21.4	63.1	1.8	13.7
女性	1,342	16.9	59.3	1.2	22.6
【年齢】					
65～69 歳	728	18.3	66.2	2.5	13.0
70～74 歳	627	20.8	61.6	1.0	16.6
75～79 歳	522	18.4	59.0	0.9	21.7
80 歳以上	430	17.0	53.3	1.0	28.7
65～74 歳（計）	1,356	19.5	64.0	1.8	14.7
75 歳以上（計）	952	17.7	56.4	1.0	24.8
【配偶者の有無】					
いる	1,498	19.4	66.9	1.3	12.5
いない	809	17.6	49.9	1.8	30.8
【都市規模】					
大都市	412	11.0	66.7	0.9	21.4
中都市	799	18.8	62.1	1.6	17.6
小都市	450	25.5	54.8	1.8	18.0
町 村	646	19.0	60.0	1.5	19.5
【世帯構成】					
単身世帯	308	10.9	53.8	1.3	33.9
夫婦のみ世帯	803	18.1	69.9	1.0	11.0
二世帯世帯	464	20.9	57.3	1.5	20.3
三世帯世帯	600	22.4	54.8	2.2	20.6
その他の世帯	132	17.0	63.1	0.9	19.0

(6) 健康管理に関する行政への期待 (Q27)

「高齢者の健康管理について国や地方自治体に力をいれてほしいこと」についてみると、「老人性痴呆症について」が26.2%で最も高く、以下、「寝たきりの予防方法について」23.8%、「介護の方法について」19.0%、「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」15.8%、「健康診査の内容や受け方について」12.6%、「骨粗鬆症（骨の量が減少し、もろく折れやすくなる病気）について」8.2%、「健康増進のための運動方法について」7.9%、「心の健康について」7.7%、「食生活のあり方について」6.4%、「歯の健康について」1.5%の順になっている。また、「特にない」は38.6%となっている。

前回調査と比較すると、割合が減少した項目が多くみられ、「寝たきりの予防方法について」は8.7ポイント減少し、前回最も高い割合から2番目の割合となっている。「心の健康について」は9.4ポイント減少、「健康診査の内容や受け方について」は7.2ポイント減少、「健康増進のための運動方法について」は6.4ポイントの減少となっている。一方、「特にない」の割合は13.7ポイント増加している。

図5 - 6 健康管理に関する行政への期待 (Q27) (3つまでの複数回答)



性別にみると、「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」(男性 19.6%、女性 13.0%)、「健康増進のための運動方法について」(男性 10.8%、女性 5.8%)は男性の、「寝たきりの予防方法について」(男性 20.9%、女性 25.9%)と「骨粗鬆症（骨の量が減少し、もろく折れやすくなる病気）について」(男性 4.9%、女性 10.7%)は女性の割合が高くなっている。

年齢階級別にみると、「老人性痴呆症について」、「介護の方法について」、「がん、心臓病、脳卒中などの成人病について」、「健康診査の内容や受け方について」は前期高齢者で、「特にない」は後期高齢者（47.5％）の割合が高くなっている。

都市規模別にみると、「老人性痴呆症について」、「介護の方法について」は、大都市で割合が高くなっている。

世帯構成別にみると、夫婦のみ世帯で多くの項目が高い割合になっている。

現在の健康状態別にみると、「老人性痴呆症について」は健康状態が『良い』と答えた人（28.1％）で、「寝たきりの予防方法について」は健康状態が「普通」と答えた人（27.2％）で割合が高くなっている。

表5 - 6 健康管理に関する行政への期待（Q27）（3つまでの数回答）

	総 数	老人性痴呆症について	寝たきりの予防方法について	介護の方法について	がん、心臓病、脳卒中などの成人病について	健康診査の内容や受け方について	骨粗鬆症（骨の量が減少し、もろく折れやすくなる病気）について	健康増進のための運動方法について
【総 数】(実数)	2,307	604	549	439	364	291	190	183
(構成比)		26.2 %	23.8 %	19.0 %	15.8 %	12.6 %	8.2 %	7.9 %
【性別】								
男性	965	25.0	20.9	19.2	19.6	14.9	4.9	10.8
女性	1,342	27.0	25.9	18.8	13.0	11.0	10.7	5.8
【年齢】								
65～69歳	728	31.1	26.3	20.5	19.3	17.3	7.1	10.7
70～74歳	627	27.7	25.0	22.9	18.4	12.2	9.5	8.0
75～79歳	522	25.7	24.0	19.4	11.5	10.9	9.3	5.0
80歳以上	430	16.2	17.7	10.3	11.1	7.5	7.1	6.8
65～74歳（計）	1,356	29.5	25.7	21.6	18.9	14.9	8.2	9.4
75歳以上（計）	952	21.4	21.2	15.3	11.3	9.4	8.3	5.8
【都市規模】								
大都市	412	30.7	24.5	25.3	13.1	12.0	8.3	7.0
中都市	799	27.4	28.4	19.6	19.4	13.0	8.6	7.9
小都市	450	23.7	19.9	16.9	11.7	14.3	9.1	6.3
町 村	646	23.5	20.4	15.7	15.7	11.4	7.2	9.6
【世帯構成】								
単身世帯	308	18.0	19.3	14.0	10.9	11.8	7.7	5.9
夫婦のみ世帯	803	30.9	26.8	24.1	20.0	15.4	9.4	9.5
二世帯世帯	464	25.2	23.3	17.8	14.4	12.2	6.9	6.2
三世帯世帯	600	25.9	23.0	15.7	14.1	9.7	9.1	8.5
その他の世帯	132	21.6	21.4	19.0	13.6	12.3	3.5	6.1
【現在の健康状態】								
良い（計）	1,094	28.1	23.3	18.8	14.0	12.9	6.6	8.4
普 通	596	26.5	27.2	19.0	16.7	13.3	8.7	9.1
良くない（計）	613	22.3	21.2	19.3	17.9	11.5	10.9	6.0

表 5 - 6 健康管理に関する行政への期待 (Q27) (3 つまでの複数回答) つづき

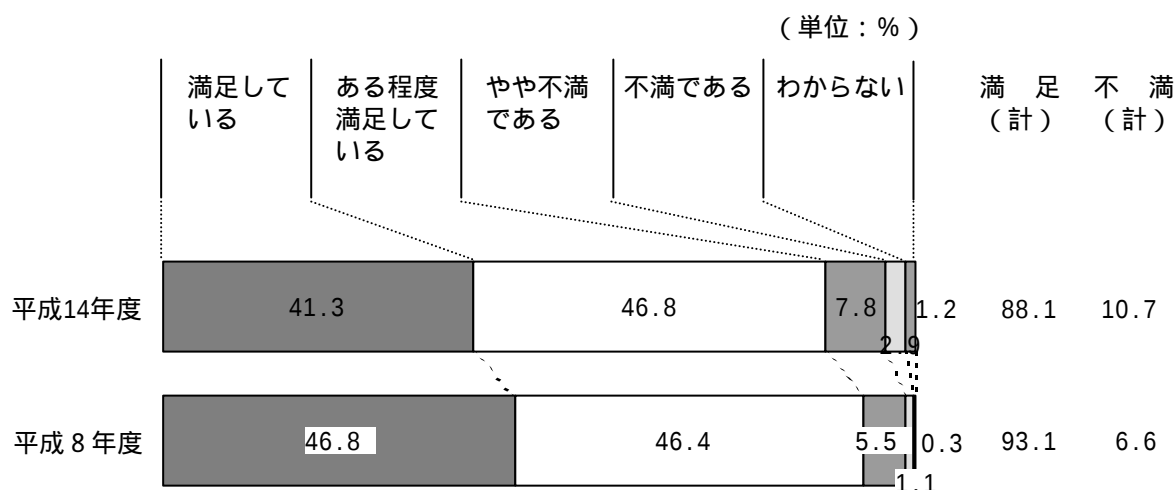
	総 数	心の健康に ついて	食生活のあ り方につい て	歯の健康に ついて	その他	特にない	回答計
【総 数】(実数)	2,307	177	149	35	89	890	3,958
(構成比)		7.7 %	6.4 %	1.5 %	3.8 %	38.6 %	171.5 %
【性別】							
男性	965	8.1	7.9	1.7	3.9	37.9	174.9
女性	1,342	7.4	5.4	1.4	3.8	39.0	169.1
【年齢】							
65～69歳	728	9.4	7.0	1.8	3.6	30.3	184.3
70～74歳	627	6.7	7.5	1.2	4.8	34.6	178.4
75～79歳	522	7.6	6.1	2.0	4.2	41.4	167.2
80歳以上	430	6.2	4.3	0.9	2.3	55.0	145.2
65～74歳(計)	1,356	8.2	7.2	1.5	4.2	32.3	181.6
75歳以上(計)	952	7.0	5.3	1.5	3.4	47.5	157.3
【都市規模】							
大都市	412	8.3	6.2	2.5	2.8	34.8	175.6
中都市	799	11.0	7.6	1.5	4.2	33.3	181.9
小都市	450	5.5	5.7	0.9	3.8	43.2	161.0
町 村	646	4.7	5.7	1.4	4.1	44.2	163.5
【世帯構成】							
単身世帯	308	5.9	5.9	1.9	4.8	45.9	152.1
夫婦のみ世帯	803	8.5	7.5	1.6	3.6	30.9	188.1
二世世代世帯	464	8.4	5.6	2.3	3.0	40.5	165.8
三世世代世帯	600	7.5	5.5	0.8	4.2	41.7	165.7
その他の世帯	132	5.4	8.2	0.9	4.2	46.6	162.8
【現在の健康状態】							
良い(計)	1,094	8.6	7.5	1.6	4.0	38.4	172.3
普 通	596	8.4	5.3	1.4	3.5	37.0	176.0
良くない(計)	613	5.5	5.6	1.5	3.9	40.3	165.9

(7) 生活全般の満足度 (Q28)

「現在の生活全般に満足しているか」についてみると、「満足している」が 41.3%、「ある程度満足している」が 46.8%で、両方を合わせた『満足』は 88.1%とほぼ 9 割を占めている。一方、「やや不満である」は 7.8%、「不満である」は 2.9%で、両方を合わせた『不満』は 10.7%となっている。

前回調査と比較すると、『満足』が 5.0 ポイント減少し、『不満』が 4.1 ポイント増加している。

図 5 - 7 生活全般の満足度 (Q28)



世帯構成別にみると、『満足』は単身世帯 (77.9%) で割合が低くなっている。

現在の健康状態別にみると、『満足』は健康状態が『良い』と答えた人 (93.6%) が『良くない』と答えた人 (77.9%) より 15.7 ポイント高い割合となっている。

要介護度の状況別にみると、『満足』は『認定なし』と答えた人 (89.2%) の割合が高く、『認定あり』と答えた人 (77.3%) で低くなっている。

表 5 - 7 生活全般の満足度 (Q28)

	総 数	満 足 (計)	満 足 度		不 満 (計)	不 満 度		わからない
			満足してい る	ある程度満 足している		やや不満で ある	不満である	
【総 数】(実数)	2,307	2,033	952	1,081	247	180	67	27
(構成比)		88.1 %	41.3 %	46.8 %	10.7 %	7.8 %	2.9 %	1.2 %
【性別】								
男性	965	88.3	39.3	49.0	10.8	7.8	3.0	0.9
女性	1,342	88.0	42.6	45.3	10.7	7.8	2.9	1.4
【年齢】								
65～69歳	728	89.9	40.3	49.6	9.1	7.3	1.8	1.0
70～74歳	627	87.9	41.6	46.2	11.0	7.9	3.1	1.1
75～79歳	522	87.0	41.6	45.4	11.7	8.3	3.4	1.3
80歳以上	430	86.8	41.9	44.8	11.8	7.9	3.9	1.4
65～74歳 (計)	1,356	89.0	40.9	48.0	10.0	7.6	2.4	1.1
75歳以上 (計)	952	86.9	41.8	45.1	11.8	8.1	3.6	1.3
【世帯構成】								
単身世帯	308	77.9	33.0	44.9	19.3	13.1	6.2	2.8
夫婦のみ世帯	803	88.8	39.2	49.6	10.6	8.5	2.1	0.5
二世帯世帯	464	87.2	40.7	46.4	11.0	7.2	3.8	1.8
三世帯世帯	600	92.6	48.9	43.7	6.5	4.7	1.8	1.0
その他の世帯	132	90.5	40.3	50.2	9.5	7.6	1.9	-
【現在の健康状態】								
良い (計)	1,094	93.6	51.1	42.5	5.7	4.5	1.2	0.7
普 通	596	88.8	37.2	51.5	10.1	8.5	1.6	1.1
良くない (計)	613	77.9	27.6	50.3	20.0	12.9	7.2	2.1
【要介護度の状況】								
認定なし (計)	2,102	89.2	42.1	47.0	9.8	7.4	2.4	1.0
認定あり (計)	206	77.3	32.2	45.1	20.3	11.8	8.4	2.5